

議会だより



白山市

第36号

2014

平成26年5月



「力を合わせてゴールを目指す」
松任城址公園春まつり ～三輪車リレー～

撮影者：小川義昭（広報広聴委員会委員）

撮影地：松任城址公園周辺（古城町）

活発な
意見が
飛び交う

市民の生の声を聞く！ ～議会報告会～

..... 14

目次

わたしたちが議長・副議長です.....	2
平成26年市議会定例会3月会議概要 ...	3
常任委員会レポート.....	6

一般質問.....	8
私は傍聴しました.....	16

わたしたちが議長・副議長です

開かれた議会運営を

このたび、平成26年定例会3月会議において、議員各位のご推挙により、第10代白山市議会副議長に就任いたしました。1市2町5村が合併し10年という節目の年でもあります。広大な面積と人口11万人の市民の幸せを願わずにはられません。

さて当市議会では、通年議会を取り入れたところであり、そうした中、地域における議会報告会や各種団体との意見交換を行っております。今後ともさらなる白山市の政策・改革に議長を補佐し、開かれた議会運営と待ったなしの行財政改革に取り組んでまいります。



寺越和洋 議長

市民と歩む議会を

このたび、平成26年定例会3月会議におきまして、第10代白山市議会議長に就任いたしました。

白山市は、合併10年目を迎えました。そして、この合併10年目を、市民の皆さまと共に喜び合いたいと思います。

しかし、まだ、地域間格差や一体感の醸成など、山積する課題も多岐にわたります。また、山積する課題も多岐にわたります。さらに、来年度の北陸新幹線金沢開業は、首都圏とのさらなる交流・誘客で経済効果が期待されます。議会としても、さらなる活性化や潤いのため



安田竹司 副議長

提言をしていかなければなりません。当市議会では、議会基本条例にのっとり、開かれた議会・市民と歩む議会を目指しております。

今年度は、議会報告会を実りあるものとするための取り組みや各種団体との意見交換会を積極的に行い、見える形として執行部へ具申してまいります。さらに、通年議会の機能の重要性を念頭に置きながら公正公平なる議会運営を行います。

次世代に誇れて繋げるため、議員一致協力・尽力してまいります。



3月4日(火)～24日(月)

今期定例会3月会議に市長より提出された予算案13件、補正予算案8件、条例案24件、事件処分案21件、追加上程された人事案3件、議員提出の議会議案3件は全て可決または同意しました。

平成26年度 当初予算

一般会計前年度比 0.8% 4億900万円の減

一般会計500億1700万円、特別会計・事業会計を合わせた
総額833億1500万円を可決

◎主な当初予算の概要

市立野球場建設事業

7億5831万円

○歳入

一般財源のうち、本市の市税収入は、景気回復に伴う個人所得の増や企業業績の回復などを見込み、総額で25年度比1・9%（2億9570万円）増の約158億3461万円が見込まれ、一般会計は、500億1700万円となりました。

・黒瀬町地内
4・1ヘクタール

○歳出

合併10周年記念事業

2478万円

- ・白山市第九公演
- ・白山市合併10周年記念市史の発刊
- ・古典芸能を楽しむ会（松任ライオンズクラブ創立50周年記念事業と共催）等

桜の名勝整備事業

112万円



建設予定地

多子世帯3人目の保育料を2分の1に軽減

499万円

白山市観光連盟運営補助事業

2855万円

北陸新幹線開業PR推進事業

434万円

ジオパーク推進事業

4134万円

- ・ジオパーク視点場整備
- ・設置予定場所／小舞子海岸、市民工房つるわし、西山、白山スーパール海道
- ・百万貫の岩周辺整備 等



ゆきママとしずくちゃん

高等学校等奨学金制度

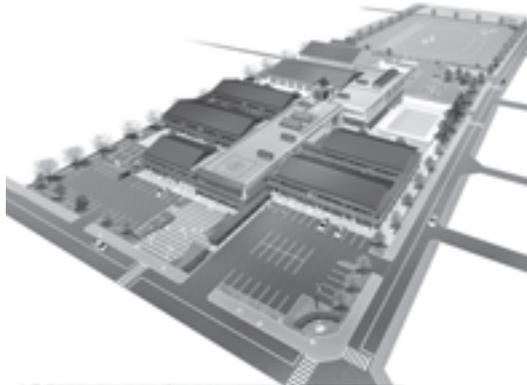
30万円

特別支援員配置事業

5985万円

小中学校等教育施設整備事業
(全体事業費)

32億5805万円



明光小学校完成予想図

公民館大規模改修事業

3億7920万円

美川図書館新築等事業

1億7300万円

◎主な補正予算の概要

一般会計で、総額17億4248万円の3月補正を可決しました。

松陽小学校大規模改造地震補強事業

3億5670万円

松任駅前用地取得事業

3000万円
(ほか債務負担行為3億2100万円)

◎主な議案及び概要

文化行政を市長部局へ

○条例案

白山市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例

教育委員会で所管している文化振興に関する事務について、観光部門との連携を強化するため市長部局に移管することに伴う改正を行う。

白山市部設置条例及び白山市支所設置条例の一部を改正する条例

平成26年4月からの組織機構および事務事業の見

直しに伴い、「観光推進部」を「観光文化部」に名称変更するとともに、文化振興に関する事務を教育委員会から観光文化部に移管する。

また、白山ろく5支所の市民サービスセンターへの再編に伴い、支所設置条例から5支所の規定を削除することに伴う改正を行う。

○事件処分案

指定管理者の指定

・白山市福祉ふれあいセンター
 指定管理者：社会福祉法人白山市社会福祉協議会
 指定期間：平成26年5月1日から平成31年3月31日



福祉ふれあいセンター

・こがね荘
 指定管理者：公益社団法人白山市シルバー人材センター
 指定期間：平成26年4月1日から平成31年3月31日

財産の譲渡

- 民間法人に譲渡されました
- ・あいのき保育所およびあいのき児童センター
 譲渡先：社会福祉法人相木福祉会
- ・富光寺保育所
 譲渡先：社会福祉法人鶴来愛環会
- ・鳥越保育所
 譲渡先：社会福祉法人とりごえ・かわち会

財産の無償貸付

白峰保育所ほか8施設

◎人事案

- 監査委員の選任について
 西川 寿夫さん（倉光西二丁目）
- 教育委員会委員の任命について
 平西富士子さん（法仏町）
- 固定資産評価審査委員会委員の選任について
 三木 規子さん（末正町）
 松浦 幸夫さん（東美沢野町）
 井南 弥紀さん（女原）

反対討論（趣旨）

（発言者・宮岸美苗）

平成26年度予算では、北陸新幹線金沢開業を見据えての諸施策があげられるが、新幹線のみではない、地元業者が潤う対策が求められるべきである。また、行財政改革においては、平成26年度も引き

続き、公共施設の法人化あるいは廃止、民間事業者に管理運営をさせる計画がめじろ押しとなつている。本市の公共財産が、特定の民間企業の営利目的に利用されるということは容認できない。

平成26年度一般会計予算ほか8議案に対して反対する。

賛成討論（趣旨）

（発言者・藤田政樹）

予算編成に当たっては、国の経済対策に対応し、一般会計当初予算では平成25年度に引き続き、財政調整基金からの繰り入れを行うことなく堅調に編成されている。

今後、既存の制度にとらわれることなく、積極的な事務事業の見直しが行われることを確信し、全議案に賛成する。

次の会議のお知らせ

定例会6月会議の日程

6月 5日（木）	本会議（提案説明）
6月12日（木）	本会議（一般質問）
6月13日（金）	本会議（一般質問）
6月16日（月）	本会議（一般質問予備日）
6月17日（火）	常任委員会
6月18日（水）	常任委員会
6月23日（月）	本会議（表決）

私は 賛成・反対しました

氏名	横山 隆也	山口 俊哉	安美 隆直	吉本 史宏	永井 徹史	石地 宜一	小川 義昭	安田 竹司	北嶋 章光	宮中 郁恵	村本 一則	宮岸 美苗	岡本 克行	吉田 郁夫	竹田 伸弘	清水 芳文	前多 喜良	藤田 政樹	西川 寿夫	中西 恵造
会派名	白政	市民	白政	白政	白政	一創	白政	白政	市民		白政		白政	市民	市民		白政	一創	一創	一創
平成26年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
白山市児童館条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
白山市老人福祉センター条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
白山市観光施設条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
白山市観光宿泊施設条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の無償貸付について (河内老人福祉センター)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の無償貸付について (河内つり堀施設)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の無償貸付について (河内パーベキュー施設)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の無償貸付について (ふるさと保養センター清流)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
「北陸本線松任構内金剣架道橋の新設工事委託に関する協定について」の議決の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○

○=賛成、×=反対
 *賛成反対が分かれたもの
 *議長（寺越和洋）は採決に加わりません。

災害用品備蓄場所の周知徹底を

総務企画常任委員会

主な質問

平成26年度一般会計予算

質問 町内会から、災害用品の備蓄場所を知らされていないという声を聞く。いざというときに適切に対応できるように定期的に周知するべきでは。

答え 各支所において災害用品備蓄場所についての広報をするよう伝えてある。平成26年度からは白山ろく産業土木課に業務が集約されるが、広報についても引き続き行っていく。



災害用品が備蓄されている白峰市民サービスセンター

質問 投票時、入場整理券を持って行かなかった場合の本人確認を今後もしっかり検討するべき。

答え

入場整理券は会場での混雑を回避し、スピーディーで適切に本人確認ができることから有効である。できるだけ持参していただきたい。入場整理券の持参を忘れた場合は、生年月日、住所、氏名を記入いただき、突き合わせの上、本人と確認できれば投票いただいている。十分検討して対応していきたい。

質問 今後もアピタ松任店で期日前投票所を開設するのか。

答え 初めての試みであったが、ある程度の人員が投票所に足を運ばれた。しばらくこの形態のまま引き続き実施したいと考えている。

質問 曾谷の区画整理組合は駅も含めて自分たちでやっているが、在来線新駅については、そのような検討はされなかったのか。

答え 国庫補助申請をする時点を要することから、曾谷の場合は区画整理の中で単独で駅を造る話となった。在来線新駅については、当初から、車両基地側に新幹線乗り場、北陸線側に在来線乗り場を造る計画をしていた経緯もあり、区画整理組合の中では現在検討していない。

文教福祉常任委員会

保育所民営化に対する 今後の方針は

主な質問
保育所民営化と認定こども園

質問 本年4月から美川地区で市内初となる認定こども園が開園するが、保育所民営化に対する今後の方針は。

答え 美川地区は、地元から保育所と幼稚園の子どもを一緒に預かることのできる施設を整備してほしいとの要望があった。今後、ニーズ調査や「白山市子ども・子育て会議」の意見を聞いた上で、認定こども園への移行も含めた保育所の民営化について考えていく。



認定こども園みかわ子ども園
(平成26年4月1日開園)

市民温泉の施設修繕

質問 温泉施設のボイラーを修繕する際は、地元産材による木質バイオマスなど、再生可能エ

ネルギーの導入を検討してはどうか。

答え 市民温泉については、平成26年4月から新たな指定管理者が管理することになっていく。今後、指定管理者と協議していきたい。

白山市文化協会運営費補助金

質問 平成26年度予算では、補助金が前年度の約2分の1に減額されているが、理由は何か。

答え 平成23年に市文化協会が設立されてから2年間、臨時職員2名に係る費用を補助してきた。平成26年度は1名分を確保し、別途、市職員を文化協会担当として配置する。

意見 文化協会が自立できるように、引き続き人的・財政的支援を行うとともに、市から派遣する職員についても、円滑な事務運営ができるよう配慮してほしい。

子どもの権利条例啓発事業

質問 今後さらに条例の認知度を高める必要がある。平成26年度はどのような啓発事業を実施するのか。

答え 子どもの権利を含め、子どもたちが自分たちで運営する子ども議会を開催する。

産業建設常任委員会

稲作経営の支援体制構築を

主な質問
新たな米政策推進事業

質問 稲作経営は採算が厳しく、担い手不足が懸念される。大規模経営に意欲的な農家に対し、市はどのように支援していくのか。稲作経営の実態を把握し、国の補助事業に追随するだけでなく、市独自の施策にも取り組むべきではないか。

答え 平成26年度から、都道府県単位で農地中間管理機構が1カ所設置される。機構と連携を密にし、仕事がいしやすく効率のいい農業ができるようにしていきたい。



安定した稲作経営を次世代に

意見 直接農家と意見交換をすることで実態を把握し、JAと

も連携しながら、農業の活性化を図っていただきたい。

公園施設や遊具の改修

質問 公園施設等の改修に際し、安全・安心対策を含めた中で、利用者の意見を聞くなど、利用実態に即した改修等を検討すべきではないか。

答え 今後、そのように事務を進めていきたい。

財産の無償貸付

質問 老朽化した公共の観光施設は、まちづくりや地域活性化の観点から、施設を有効利用するため、今後市からの投資も考えられる。その中で、地元が施設の運営をするのであれば致し方ないが、全国展開している企業に将来的な譲渡も視野に公共財産を貸し付けし、運営を任すことに地元が納得しても抵抗がある。経費削減一辺倒の発想は危険だと感じるが。

答え 公共施設の管理見直しについては、行財政改革の一環でその方針に基づき、地元と協議を重ねている。老朽化した観光施設については、市が運営できない場合、地元で運営を打診し、地元が運営できない場合には公募により、民間企業から受け入れ先を募ることとしている。

「そこがききたい」 市政を問う

一般質問

3月会議の一般質問は、12日、13日の2日間にわたり行われました。

12日の質問議員

- 山口 俊哉 議員 8ページ
- 清水 芳文 議員 9ページ
- 中西 恵造 議員 9ページ
- 横山 隆也 議員 10ページ
- 村本 一則 議員 10ページ
- 小川 義昭 議員 11ページ
- 永井 徹史 議員 11ページ

13日の質問議員

- 吉本 史宏 議員 12ページ
- 安実 隆直 議員 12ページ
- 宮岸 美苗 議員 13ページ
- 宮中 郁恵 議員 13ページ

一般質問コーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

市ホームページで議会録画映像の配信や、「会議録の検索」により一般質問など本会議の詳しい内容も、ご覧になることができます。



健康福祉部長 ボランティアや市民活動に関する情報提供、各団体相互の連携の調整など大変重要である。福祉ボランティアだけでなく、市民活動、

名称が間口を狭く感じさせるので、名称変更を。ボランティアセンターに配置するコーナー内のボランティアセンターの役割は、ボランティアの役割は、

市長 合同就職説明会の開催は、本市出身の県内の学生に地元の優良企業を知ってもらう良い機会なので検討したい。

若者の就業支援 県内外の大学に進学している学生に戻っていただくために、市内企業への就職へ向けた取り組みを。



山口 俊哉 議員



全ての子どもに安全・安心の給食を

教育長 学校規模や給食施設の調理方法が異なることもあり、今まで通り学校ごとに対応したい。マニュアルについては平

食物アレルギーと給食 食物アレルギーの子に対する給食の対応の統一を。アレルギー対応のマニュアル作成を。

学力と全国学力状況調査 本市が求める学力は、全国学力状況調査で全て判断できるのか。

教育長 学力調査の結果や順位だけで学校を評価する危険性があり、全校を一括して公表することは考えていない。

教育委員会委員長 学力全体を点数化していないので、学習した全てや思考力、判断力、表現力という能力は測れない。定着状況を示す一つの指標であると捉えている。

再生可能エネルギーの推進を積極的に

A 推進を盛り込んだ
白山市環境基本計画を策定する

Q 再生可能エネルギーの推進を積極的に



清水 芳文 議員

Q 首都圏で白山市をPRする
ショップの拡大を

A 本市出身者のネットワークを通じ
店舗拡大を図る

観光戦略

質問 白山登山推進事業の利用者増について①登頂記念の写真募集で拡充策を。②事業の申込者に市民温泉優待券の発行を。

観光推進部長 本市出身者のネットワークを通じて、協力いただける店舗拡大を図る。

市民生活部長 これまで市ではさまざまな取り組みを行っている。地域防災スクール事業の創設は考えていない。

防災対策 災害協定を結んだ自治体や地域団体と平常時から友好交流を促進せよ。

自転車事業 自転車に関する基本となる条例を制定せよ。

市長 ①平成26年度から感想文コンクールを行う。写真コンテストは検討したい。②ご褒美より思い出づくりを行う。

市民生活部長 災害時に有効であり、今後も友好交流を推進したい。

市民生活部長 条例化は考えていない。

質問 首都圏で白山市をPRするショップの拡大を。

質問 段階的に防災教育を学習する学年別カリキュラムを提案する。

市民生活部長 既にやっている団体や地域があり、市としては考えていない。

質問 防災に強い地域づくり、被害者を出さない災害弱者対策として、地域防災スクール事業の創

教育長 内容の理解など学年ごとの発達段階に応じた指導内容を焦点化し、より成果が得られるようにしたい。

市民生活部長 建設予定の野球場敷地内で設置できないか検討したい。



郷土の特産品をPRするアンテナショップ店内

質問 内容の理解など学年ごとの発達段階に応じた指導内容を焦点化し、より成果が得られるようにしたい。

市長 建設予定の野球場敷地内で設置できないか検討したい。



中西 恵造 議員

Q 手取川、命の循環を育む所を
発信せよ

A 白山市の誇りであり
県内外にPRする

質問

秋になると帰ってくるサケは、白山からの伏流水が川底から湧き出した流れの弱い静かな所で産卵ふ化し、その命を子孫に伝える。命を育む水の旅、素晴らしい自然を大切に発信せよ。

市長 日本三霊山の白山、白山比咩神社を白山ブランドの象徴として、世界に向けてアピールして行く。

市長 日本三霊山の白山、白山比咩神社を白山ブランドの象徴として、世界に向けてアピールして行く。

命の水を守る手立てを 罰則で理解を得られる善良な国民や事業者ならよいが、これを無視とした場合の罰則規制はあるか。水循環基本法の成立が大切。

産業部長 県と連携し水資源を守るとともに、市長会等を通じて要請していきたい。

産業部長 サケの帰る手取川は、命の循環が育まれた河川で、市の誇りである。

産業部長 県と連携し水資源を守るとともに、市長会等を通じて要請していきたい。

市長 同コースは白山手取川ジオパークの貴重な財産、さらに看板の設置など工夫を凝らしたい。



サケの産卵風景

質問 ある調査では、北陸の認知度は6%、全国観光地47の3番目との事。霊峰白山の白山をもっと発信して行く事が大切。

市長 同コースは白山手取川ジオパークの貴重な財産、さらに看板の設置など工夫を凝らしたい。



横山 隆也 議員

Q 東京五輪キャンプ地を誘致する取り組みを

A 個人的には水泳がいいと思っているが関係者と相談

東京五輪キャンプ地誘致を
質問 県内の自治体でも参加チームの事前合宿の誘致を目指す動きが出て

いる。実現すれば恩恵を受けるが本市の取り組みは。

市長 一定の経済効果や青少年たちのスポーツへの関心を高める効果がある。市では国体の水泳競技の開催実績もあり、同種目の誘致に向けて関係者と相談したい。

加賀地域連携推進会議
質問 取り組み内容は。

市長 加賀地域の産業観光・名所旧跡・観光地巡りなどのコース設定を行い、同地域の食材を使った伝承料理やご当地グルメなど、食のプロモーションの展開を目指す。霊峰白山を軸としたテ-

マで連携し、歴史文化の魅力や全国に発信し、知名度を上げていきたい。高年齢の方

は民間への全行程の業務委託を含めて事業を行っていきたい。

高年齢の方がたくさん住んでいるところも考慮しながら、土地所有者等の了解の得られたところから進めたい。



霊峰白山を全国へ発信

地籍調査を積極的に

質問 本市の進捗率、新年度に行う地区、今後の方向性は。高齢化・過疎化が進む地域を重点とすべき。

産業部長 地域別では松任は完了、美川84%、鶴来29%、白山ろく1%、全体で15%。新年度は美川3カ所、鶴来2カ所、白山ろくで1カ所。今後を進めたい。

市域別では松任は完了、美川84%、鶴来29%、白山ろく1%、全体で15%。新年度は美川3カ所、鶴来2カ所、白山ろくで1カ所。今後を進めたい。

地域振興公社のあり方
質問 市地域振興公社の今後のあり方をどう考えるのか。

参事(公社専務理事) 公益財団法人への移行を目指す。体育施設での運動教室やジオツアーなど自主事業の充実を図る。公社職員の職場確保のため、道路管理業務や雑草作業などを新たにを行い、余剰人員が出ない体制づくりを進めたい。

市域別では松任は完了、美川84%、鶴来29%、白山ろく1%、全体で15%。新年度は美川3カ所、鶴来2カ所、白山ろくで1カ所。今後を進めたい。



村本 一則 議員

Q 全国発酵食品サミットとはどんな内容か

A 21世紀を発酵の世紀として情報交換や交流を深める

開催実行委員会の発足を急げ

質問 これまでの開催地の来場者数と白山市開催の来場者予測数は何人か。なぜ発酵食品製造の多い鶴来地域で開催しないのか。地産地消課の担当が最適と思うが考え

は。産学官で構成する委員会を4月に組織する

市長 以前の開催地は、1万5千人から1万8千人。白山市では1万5千人を目標とする。奇跡の発酵食品といわれるフグの卵巣ぬか漬けの生産地・美川地域を主会場とする。鶴来地域などでは、蔵元や観光地を巡るツアーなどオール白山の仕組みを作りたい。新幹線金沢開業白山ブランド

を顕彰していく。市「水と発酵文化」をテーマにしているが、食育や食文化と発酵食品が深く関係するので地産地消課も参画させたい。

PR戦略実行プランでは市の偉人・先人は周知

顕彰していく。小川夫妻を含む市の偉人・先人は、小学校の副読本、市ホームページ、市広報紙や市立博物館で展示等を活用し、これまでどおり周知顕彰し

ていく。委員会を組織して医師を組織して医師を目指して勉強をし、偉人・先人に関し、後世に伝えるべき功績や業績、具体的な継承方法も検討したい。

が処刑された。しかし、4年後に明治維新となり思いが現実となった。妻、直子氏も明治天皇の御用掛を務め女性の鏡、教育者の手本として敬慕された。郷土の偉人として二人を顕彰する考えは。

が処刑された。しかし、4年後に明治維新となり思いが現実となった。妻、直子氏も明治天皇の御用掛を務め女性の鏡、教育者の手本として敬慕された。郷土の偉人として二人を顕彰する考えは。



明治維新の偉人



小川 義昭 議員

Q 合併後の評価や課題を検証し
今後に生かすべき

A 平成27年度に
市民アンケートを実施



合併10年目を迎えて

質問 合併後の一体感、まちづくり、行政サービスなど、市民の皆さんとの評価や課題を検証し、今後に生かすべき。

健康福祉部長 市から職員を7名派遣し、施策の調整やプロパー職員の育成に努めている。平成26年度からプロパー職員の市の派遣を受け入れる人事交流を行う。

市長 現在の総合計画の計画期間は、平成28年度までであり、次期の総合計画を策定にあたり平成27年度に、市政全般にわたる市民アンケートを行う。市民の意見を市政に反映させることは重要である。

社会福祉協議会の質の向上

質問 地域福祉を担っていく社会福祉協議会の職

市長 一度、町内会と全体の配布物を含め、話す場があればいい。



永井 徹史 議員

Q 公共施設更新問題には
まちづくり設計方針が必要

A 公共施設マネジメント計画に
盛り込む

公共施設更新問題

質問 適正なサービス提供のための施設最適配置を進める等、総合的なマネジメント、新たなまちづくり設計の方針が重要では。

総務部長 単に施設を廃止するのではなく、施設機能を維持しつつ必要なサービスを維持することと、新たな施設整備は充

健康福祉部長 平成25年度から回覧方式にし、発行回数を倍増した。町内会の負担軽減を図るためであり、ご理解願いたい。

合併10周年記念事業

質問 イベント型記念事業が多いが、市長が地域住民と懇談する等の融和推進事業も必要ではないか。

市長 記念事業に多くの

市民に参加いただくことが一体感醸成につながる。

に出した誘客プログラムを実施したい。

住宅の耐雪化

質問 関東甲信の大雪災害を鑑み、克雪先進地である本市で、住宅の耐雪化を進めることは意義深い。

市長 危険性の考慮が重要だが、地域の実態を調査し検討していきたい。

克雪文化の観光への活用

質問 本市の克雪対応に見られる先人の知恵や土地柄は、まさに共助の文化。文化・観光の相乗効果を目指し、視察誘致等に活用しては。

観光推進部長 克雪への生活文化を前面



工夫凝らした除雪道具「み」を使った克雪文化



吉本 史宏 議員

Q

今後の桜の里親事業の
取り組みは

A
各地域の公園などにも
拡大できないか検討したい

桜の名勝整備事業

質問 整備する拠点の選
定基準は。

市長 開花情報をホーム

ページで公表している
18カ所を含め、平野部か
ら白山ろくまで1カ月以

上、市民や観光客の皆さ
んが桜を楽しめる場所を
基準として選定してい
る。

質問 平成26年度に新た
に整備する拠点の計画

は。

市長 尾口地域内の国道
360号の沿道や、国道

157号の沿道、鳥越地
域のキャニオンロード、

かわち保育所等、総本数
360本を植樹する。

**防犯対策としての学校
安全体制の整備**

質問 不法侵入者などが
ら児童・生徒の安全を守

る、学校内における対策

教育部長

児童登校後の玄
関等の施錠、
さすまたの全
校配置など環
境面の整備、
危機管理マ
ニュアルの作
成、防犯教室
を開催してい
る。

質問 学校と警察や地域
の関係機関の連携状況

は。

教育部長 警察や学校安
全ボランティア団体、市

教育委員会、市防災安全
課等と連携し、緊急情報
連絡網による連絡体制を
整えている。

質問 犯罪抑止力として
の防犯カメラの設置は。

市民生活部長 施設管理
者との協議や国の補助制

度の調査研究を進める。

防災行政無線

質問 機能確認のため、
定期的にミュージック
チャイムなどを流して
は。

市民生活部長 賛否両論

があり、合意を得られた
地域で実施している。今
後、合意が得られたところ
から実施していく。



安実 隆直 議員

Q

日本型直接支払制度は
市独自ルールを設定するのか

A
独自の取り組み要件や
交付単価は設定しない

質問 農家・農村の多面
的機能を適切に発揮する
ための日本型直接支払制

度の考えは。市内全ての
対象農用地で農地維持支

払活動がされた場合の財
政措置は。

産業部長 国・県・市が
一体で支援するもので、
市も積極的に取り組む。

県の実施要領策定後、参
加組織を取りまとめ、必
要経費を補正予算で対応
したい。

農地中間管理機構の整備

質問 機構は「人・農地
プラン」の作成主体であ
る市との連携が不可欠で
ある。機構を活用した農
地の集積・集約化の目標
設定は。

産業部長 県に設置さ
れる機構と連携を密に
し、農地の有効利用や集

積・集約化に努め、本市
線開業に向けて、銘醸地
の担い手の集積率を国が
定めた80%を目標に調整
する。

「白山菊酒」乾杯条例

質問 昨年6月制定した
条例の効果と日本酒の
銘醸地として白山菊酒を
土づくりの支援を図るべ
き。

産業部長 地産地消を目
指し生産振興を図る。ケ
イ酸質資材の試験結果を
参考に土づくり推進事業
による支援を検討した
い。

市長 今年1月までの白
山菊酒の出荷量は、前年
比で21%増加している。

白山菊酒誕生10周年の記
念イベントの開催や新幹

「道の駅」整備事業

質問 「道の駅」の基本計
画の内容と管理運営は。

市長 地場産品売り場、
ジオパーク、鉄道のまち
などをPRする施設を提
案。管理運営は、指定管
理者制度を基本に公募を
考えている。



白山市産の酒米による酒づくりを

念イベントの開催や新幹
による支援を検討した
い。



宮岸 美苗 議員

Q 子ども・子育て支援新制度で保育所はどうなるのか

A 子ども・子育て会議の意見を踏まえ方向性を検討する

質問 新制度では親の働く時間で保育時間が認定されるが、従来通りに預けられなくなることはないのか。

保育を総合的に提供するものであり、現行の水準を後退させるものではない。市としても拡充を支援したい。

質問 運営費の改善を。
健康福祉部長 国は指導員の配置に関する追加費用を予算化しているの

健康福祉部長 保護者の就労時間の下限時間は新制度でも変わらないので、そのようなことはないと考えます。

質問 指導員の資質向上と待遇改善が必要では。
健康福祉部長 全指導員を対象に毎年2回、知識・技能向上の研修をしており、今後も取り組んでいきたい。

質問 保育に民間企業の参入を認めないように。
健康福祉部長 新制度では県が市と協議の上、欠格事由に該当する場合や保育の需要と供給の調整が必要な場合を除き、県が認可するので、株式会社を参入させないという

質問 財政圧迫し環境破壊となる整備は中止を。
市長 経済の活性化や交流人口の拡大が期待でき、白山ろくの過疎化の歯止めに貢献する重要な道路であり、整備を待ち望んでいる。旧3村の思いを合併協議会での申し合わせ事項として白山市が引き継いでいる。

ことは難しい。
質問 現行の保育水準を後退させないと明言を。
健康福祉部長 新制度は幼児期の質の高い教育・



運営費の思い切った改善が必要な学童保育の現状

のこと



宮中 郁恵 議員

Q 「認知症カフェ」の開設で認知症予防促進を

A 26年度に策定する介護保険事業計画に盛り込みたい

質問 団塊の世代が75歳を超える2025年に向け、地域で暮らせる仕組み作りが急務である。地域包括ケアシステムは、介護が必要になったときに必要なサービスを一体的に受けられる支援体制である。「認知症カフェ」による認知症予防や、認知症ポーター養成講座の拡大を。

市長 地域包括ケアシステムの一環として盛り込みたい。ポーター養成講座の充実に取り組み、市民が認知症を正しく理解し、安心して暮らせるまちづくりを目指したい。
質問 全国的に中高生52万人が依存症と推計している。不登校や睡眠障害、**青少年の「インターネット依存」対策**

質問 巧妙な手口で高齢者から金銭をだまし取る特殊詐欺被害が増加している。県内でも初めて被害額が3億円を超えたという。市の被害状況と、**教育部長** 小・中学校で保護者、教師に対して非行・被害防止講座を実施し、周知・勉強している。

質問 巧妙な手口で高齢者から金銭をだまし取る特殊詐欺被害が増加している。県内でも初めて被害額が3億円を超えたという。市の被害状況と、**教育部長** 小・中学校で保護者、教師に対して非行・被害防止講座を実施し、周知・勉強している。

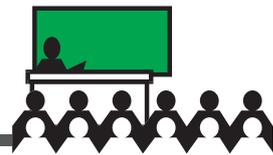
澤副市長 白山警察署管内で、平成24年は7件3890万円、平成25年は13件2930万円の被害があった。高齢者を対象に還付金詐欺等の啓発を継続的に行っていく。



高齢者運動会の様子

の拡大を。

聞く！～議会報告会～



活発な意見が飛び交う

鶴来地域で開催

均衡のとれた白山市に

このような質問がありました

Q 北陸新幹線(仮称)白山駅が整備されれば、金沢駅から約5分で到着すると思う。15キロメートル間の新幹線駅は全国にあるのか。また、費用対効果など将来の状況をどのように想定しているのか。

A 15キロメートル間での新幹線駅については、東北地方で請願駅として整備されたと聞いている。ただし、(仮称)白山駅を請願駅として整備すると、白山市が巨額な費用を抛出しなければならぬため、現在、認可駅を目指しているものである。
(仮称)白山駅を整備することによるメリット等については、調査をコンサルタント会社に依頼しており、調査結果は所管の常任委員会ですっかり議論していく。

Q 北陸新幹線(仮称)白山駅は、将来のまちづくりを考えた場合、必ず必要であり、北陸新幹線金沢開業を見据え、旧加賀一の宮駅舎の周辺整備も必要である。また、道の駅しらかやまさんから表参道への誘導方法も考えればいくらでもあると思うが、そういったことも含めて、議員が何をしたいのかが見えてこない。また、整合性



1月28日 鶴来総合文化会館クレイン

や均衡のとれた白山市にしてほしいが、市民が望んでいる報告が聞かせてこない。

A 厳しい意見をいただいた。議会でも考えていき、執行部にも提言していきたい。ただ、皆さん方も議員が一般質問している姿などに興味を持っていただき、議会の中を知っていただければ幸いと思う。

Q 議会と市長は、車の両輪と言われているが、二元代表制における議会とはどのようなものなのかお聞きしたい。

A 市長は予算や条例等の議案を提出し、その議案を議会が議決して初めて市長は議案を執行できる。議会に与えられた権限の大きなものとしては議決権がある。また、議会と首長は二元代表制ということで、国会における議院内閣制とは違い、住民が直接選挙で選び、議会と首長は対等な機関となっている。

市民の生の声を



1月30日 白山市民交流センター

【意見・要望】

・市の方向性はわかる。ただ、鶴来地域に住む者として感覚的なものがあるかもしれないが、鶴来地域に投資されたものは、学校ぐらいではないか。市全体について公平性を保ち、財政をやってほしい。

・加賀産業道路と鶴来美川インター線の交通の要所に、道の駅形式の農林水産物の直売所を設置し、市内全域の特産物を取り扱い、白山市の魅力を全国に発信してほしい。

松任地域で開催

指定管理者制度の検証を

このような質問がありました

Q 議員定数を削減した結果、議員の空白地区があることから、議会報告会を通じて意見を聞いていくということだが、市民の声を本当に聞き取ることができるのか。

A 類似団体の定数も見ながら、我々は何回も議論した結果、21名の定数になった。日々議会活動に努力しており、その一環として議会報告会を開催した。報告会を通じて、いろいろなご意見を聞いた中で執行部と議論していきたい。また、議会報告会の班編成については、議員全員で地域全体のことを考えるために、松任地域の報告会では、松任地域出身議員だけの編成ではなく、他地域の出身議員も入った編成としている。今後も一生懸命努力していきたい。

Q 通年議会のチェック機能をフルに発揮して予算決算審議に集中することが、通年議会の目的ではないかと思う。その際に、白山市の借金を減らす中期目標および長期目標を市長と議員が共有して、予算決算審議を行うよう要望したい。

A しつかりと議論をして、市民の負担が増えないような財政でなければならぬと思っている。頂いたご意見を真摯に受けとめて検討していく。

【意見・要望】

・昨年からの松任学習センターに指定管理者制度を導入しているが、悪い評判を聞く。指定管理者制度を導入することで費用の削減にもなっていないこと

だが、今後、松任文化会館、鶴来総合文化会館クレインにも指定管理者制度が導入されるので検証してほしい。

・一問一答方式で執行部側がいちいち演台に立つて、議長に一礼して出ていく時間が無駄だと思う。拡声装置などを整備して自席で立つて答弁するなど改善してはどうか。

お気軽にお申し込みください

みなさんの地域に
おじゃまします

平成26年度 議会報告会

市内の地区（地区内各種団体含む）や町内会から開催の希望があれば伺います。

参加者は20人以上でお願いします。

内 容 定例会の概要や委員会などの議会活動に関する報告を行い、その後、質疑応答や意見交換を行います。また意見交換で希望したいテーマがあれば事前にお知らせください。

時 間 開催月については7月、8月、10月、1月、2月とし、開始時間については、

おおむね午前10時から午後7時までの間とし、所要時間は1時間30分程度とします。

※議会日程等により、日時については事前にご相談いただき調整させていただきます。

費用負担 会場使用料や備品等は申込者の負担になります。

申込方法 2カ月前までに議会事務局にお申し込みください。 ☎274・9580

私は 傍聴しました

本会議一般質問を傍聴した方々から
ご意見をいただきました



議会活動に関心を

篠田 純一さん(長屋町)

これまで何回傍聴したでしょうか。一問一答方式による一般質問は、テレビ中継で見るよりはるかに熱意が感じられ、傍聴している我々からは議員の頑張りが見てとれてうれしく感じられました。

議員の努力で議会改革も進み評価はできるものの、一方では執行部の答弁に押し切られてしまうことが残念でなりません。

また、行財政改革も着実に進み、随分と合併前とは生活環境の面で変化が生じているように感じています。

北陸新幹線の開業を間近にして白山市の魅力である自然、すなわちジオパークを生かしたまちづくりが求められると思います。執行部と議会は車の両輪と言われており、議会はチェック機能を十分に行使し、市民の期待に応えるよう努力してほしいと思います。



議会運営と議員各位の英知に期待

米田 潔さん(明島町)

白山市合併10年の節目を迎えるにあたり、県内随一の広範なエリア行政の中、議会運営にも変化が出てきました。議員定数の削減、執行部との対面及び一問一答方式、また県内市議会初の通年議会が導入されるなど議員一人一人の心構えや重責の気運が痛感されます。

合併当初から幾度回、議場に足を運び傍聴し、時には広報紙やあさがおテレビ等でも拝聴しました。

合併当初の議会は質問議員も多く、中には内容も要旨も重複事案が見られましたが、最近では負託の重責に対する取り組み姿勢が真剣に感じられます。



自分たちにできること

竹内 悌二郎さん(白峰)

先日、本会議の一般質問を初めて傍聴しました。議員、市職員の方々の答弁をお聞きし、自分自身ももっと地域のことをしっかりと考えなくてはと思いました。

私の住む地区では若者が多くありません。このままでは将来に不安なこともたくさんあります。他の地区でもいろいろな問題があると思います。不安・不満ばかりでは前に進みません。自分たちにできる事は自分たちでやる。白山市民全体がこのように考えることができたならば、素晴らしい市になると思います。そしてさらに中身の濃い、熱い答弁が本

会議で行われるのではないかと思います。

多くの問題があると思います。頑張りましょう!!



お待ちしております!

本会議当日

市役所7階で受け付けていますので

お気軽にお越しください

議 会 傍 聴

- 6月 5日(木) 10:00～ 提案説明
- 6月12日(木) 10:00～ 一般質問
- 6月13日(金) 10:00～ 一般質問
- 6月23日(月) 15:00～ 表決

■広報広聴委員会

委員長：藤田 政樹 副委員長：宮岸 美苗

委員：山口 俊哉、吉本 史宏、永井 徹史、石地 宜一、小川 義昭、吉田 郁夫

針金や糊、熱も使わない製本技術「エコプレスバインディング」を採用しています。

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。